

# 環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

2023年(令和5年)

10月15日(日)

第260号

毎月15日発行  
平成13年4月17日  
第三種郵便物認可

発行所 環境農業新聞社  
編集発行人 成瀬一夫  
東京都葛飾区東金町1-41-9  
〒125-0041 フランス堂ビル3階  
電話 03-3826-5212  
FAX 03-3826-5217  
年間購読料 3,000円(税・送料込)  
郵便振替口座 00150-2-290578

## 環境農業新聞購読方法

年3,000円

毎月15日発行

FAX、メールでお申し込み下さい。

郵便振替口座 00150-2-290578



# 時代はホメオパシーと自然農

## 第24回JPHMAコンgres

# 国難の現実を知り自らできるベストをつくそう

## 医療の先端はホメオパシー

### 24回継続で参加者一万人超え



道繁大会長

日本ホメオパシー医学協会主催の第24回JPHMAコンgresは10月14、15日の両日、「国難の現実を知り自らできるベストをつくそう」をテーマに、CH ZENホメオパシーと自然農をテーマに、CH Home東京校ライブ会場及び自宅参加とオンライン&アーカイブ視聴(現在もJPHMAコンgres特設サイトから無料視聴可能)を組み合せ、一般公開の形で開催した。参加者は1万名を超え、数々の症例発表は、現代医学で治療出来なかったことが改善に向かうという信じられない事例が相次いだ。(関連記事5、6面)

コンgresは、最新の講演に学び、活動の成果を症例発表で披露する学術大会。

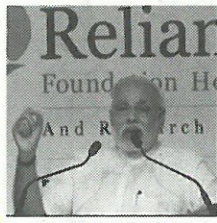
今大会では、海外来賓として、ケイト・バーチ

発表。

また、国内来賓として、豊受クリニック院長の高野弘之氏が自然派医師の立場からの講演、信州大学元特任教授小谷宗司氏が薬草、伝統薬専門家の立場からの講演、分子生物学者の河田昌東氏が公害訴訟、放射能健康汚染問題、遺伝子編集技術の問題に取り組む科学者の立場からの講演、国史啓

## インドホメオパス20万人超え

### 小名木氏、治癒力を引き出す



モディ首相



小名木氏

【小名木善行氏「国史啓蒙家の立場から」講演の冒頭では、自身のエピソードとして、蕎麦屋を営みお兄様が新型コロナワクチン5回目接種後、全く布団から起

き上がれなくなり、お仕事を、好きなお酒も

飲めるようになったという体験を披露。小名木善行先生発表より抜粋。近頃、迷惑注射と言ったのでして迷惑注射すると罰金払わされるという迷惑注射で切符切られました。迷惑注射を5回やっちゃった。突然、寝込んでしまった。思ったらもう起き上がれなくなっちゃって親戚一同、もう終わらなと由井先生のとこに連絡を

としまして「先生、なんとかありませんか？」と云って小名木先生(Men a.k.i. S. G.)を送っていただいた。ペットボトルの500mlの水に15滴垂らして、ペットボトルで1日1本飲んでいたらなんとです。よかったです。寝たきりだった兄ちゃん(72歳)が1週間で起き上がった。と思ったらそのま

まお店に出て普通に仕事をやるようになった。先生！ありがとうございます。人間本来持っているこの治癒力を引き出すこのホメオパシーというのは僕は本当にすごいなあと思いました。」

【分子生物学者 河田昌東氏からのメッセージ】「遺伝子操作は原子力以上に私たちの未来に大きな影響を与えるでしょう。私たちは今、何をすべきか真剣に考えなければなりません。」

今、世界は大きく変わ

## 東北有志医師の会と連携

### 東北有志医師の会と連携

橋本孝子さん



「コロナワクチン接種後の体調不良にホメオパシー等の自然療法で改善を図っているケース」を

の自然療法で済ませてしまっています。コロナワクチン、農薬、化学肥料、食品添加物、遺伝子組換えなどが導入され、様々な問題を引き起こしています。人間は浅はかな知識で様々なものをいじくりまわし、その結果、人間に恩恵が与えられることはありません。今大会は第24回となり、24回もやれるというところはすごい

ことです。継続は力なり。どんなことがあってもあきらめない、地道にやっていくことに意味があります。自己治癒力を触発して健康になるホメオパシーがますます大切になってきます。医療の問題はホメオパシーで自己治癒力を触発し、本日の24回大会を開催できることを喜んでいきます」と挨拶した。そしてJPHMA認定

と云う。これまで8人の医師に診てもらっても解決策がなかった主治医の先生が、東北有志医師の会の先生でホメオパシー以外にミラクルな治癒を起す可能性はないのではということ医師の勧めもあり、来院された。現在進行形ですが、東北有志医師の会所属の医師の先生とも密接に連携しながらZENホメオパシ

話を展開した。6回目のコロナワクチンを行った日から、両足の激痛に苦しんでいる方のケース。4回目の後は腰痛。5回目の後は違った症状と摂取のたびに新たな症状が加わった

ろうとしています。世界の経済成長はこれまで主に石油化学を主とした様々な物質(プラスチックなど)の製品を手段としてきました。世界の資本家は今は生命操作を経済成長の手段としてしようとしています。放射線による品種改良はこれまで使われてきましたが、今後はゲノム編集や合成生物学、フードテックなどがAIとともに資本主義の手段になるでしょう。その結果何がもたらされるか、誰もわかりません。

ゲノム編集の現状は53年前に日本で初めて商業

用原発が稼働した時に比べています。核兵器はだめだが平和利用は未来のエネルギー、とマスコミも湧き立っています。しかし、当時から一部の人は「事故が起きたらどうする」「放射性廃棄物はどうする」と指摘していました。しかし、政府や原子力の専門家たちは「事故は100万年に一回しか起きない」「廃棄物はそのうち何とかなくなる」と答えました。それから50年以上たった今、何一つ解決できていません。遺伝子操作は原子力以上に私たちの未来に大きな影響を与えるで

【海外来賓講演】なお、今回のコンgresは国際大会として、モディ首相以下、政府、国民あげてホメオパシーでの健康向上に取り組むインドからアニルバンスクル博士から科学者の立場から研究成果を発表、世界で新型コロナウイルス薬害の解決法が模索される中、米国からケイト・バーチ氏が行った。両日の発表動画アーカイブは大会特設サイトから無料で視聴できます。

【海外来賓講演】なお、今回のコンgresは国際大会として、モディ首相以下、政府、国民あげてホメオパシーでの健康向上に取り組むインドからアニルバンスクル博士から科学者の立場から研究成果を発表、世界で新型コロナウイルス薬害の解決法が模索される中、米国からケイト・バーチ氏が行った。両日の発表動画アーカイブは大会特設サイトから無料で視聴できます。